

4月1日の新たな発信文化へ、「April Dream」始動。

200社超が夢の発信に参加表明

～ 本日、各社の夢がプレスリリースとして順次発信 ～
～ 個人が夢を発表できる夢ジェネレーターも本日限定公開 ～



とりあえず、できないことを言ってみる。
とりあえず、「それムリでしょ」っていうことを言ってみる。
でも、それを「夢だね」と思えたら、
叶えられるかもしれない。

ひょっとしたら、
世界を変えてきたすごいことは、
そんなことから始まっているかもしれない。

ふだんは口に出せないようなバカげたことを、言ってもいい。
ふだんは、人に笑われてしまうような夢物語を、言ってもいい。

それを、どうしたら叶えられるかを、真剣に考えてみる。

4月1日が、そんな日になれますように。

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証一部：3922、以下 PR TIMES）は、4月1日に企業・団体・個人の内々に秘められた「夢」を発信する「April Dream」プロジェクトを、2020年4月1日（水）に始動いたします。

<https://prtimes.jp/aprildream/>

2020年、私たちは4月1日の新たな発信文化を提唱します。ここから大きなうねりを起こし、世界を変えていく覚悟で、4月1日はジョークで笑いを誘うエイプリルフールではなく、大風呂敷を広げて「夢」を語る「April Dream」を発信できる日にしていきます。社会は今また「夢」を必要としているのではないか、私たちはそう思っています。

3月18日に当プロジェクトを発表しましたが、取組み初年度にして450件を超えるお問合せを頂き、200社を超える企業・団体が事前に当プロジェクトへの参加を表明してくださいました（3月30日時点）。本日4月1日に PR TIMES サイト内「#AprilDream」タグ、および「April Dream」特設ページにて、各社の夢がプレスリリースとして順次発信されます。「April Dream」対象プレスリリースは配信費を無料とします。

なお4月1日当日参加の方法は後述いたします（※）。

そして、本日4月1日限定で、特設サイトにて誰もが「夢」を発信できる「夢ジェネレーター」を公開し、サイト上に皆様の夢を集めて掲載いたします。発信いただく「夢」が誰かの希望の光になり得ることをお伝えさせていただきます。個人の皆様からの夢発信もお待ちしております。

200社超の企業が「夢」を順次発信

3月18日のプロジェクト発表とご参加呼び掛け以降、多くの企業・団体の皆様に「April Dream」にご関心をお寄せいただき、お問合せは450件を超えました。その内200社を超える企業・団体が事前に当プロジェクトへの参加を表明しており、本日200社超の企業の「夢」がプレスリリースとして順次発信されます。

発信予定の「April Dream」の中から、ごく一部ではありますが、「夢」をお寄せいただいた企業・団体様とその「April Dream」を以下にご紹介させていただきます。

あなたに足りない栄養を
自宅に自動でお届け。
カゴメの栄養配送システムで
日本の健康寿命を世界一にします。
(カゴメ株式会社 様)

ソウルドアウトが支援する
「地方発全国、日本発世界」の
中小・ベンチャー企業を
47都道府県すべてから誕生させます。
(ソウルドアウト株式会社 様)

(参加企業より一部抜粋)

#AprilDream

4月1日は、夢の日。

あなたに足りない栄養を
自宅に自動でお届け。
カゴメの栄養配送システムで
日本の健康寿命を世界一にします。

#AprilDream
4月1日は、夢の日。



ソウルドアウトが支援する
「地方発全国、日本発世界」の
中小・ベンチャー企業を
47都道府県すべてから誕生させます。

#AprilDream
4月1日は、夢の日。



1年に1度、成し遂げたいと強く願う「夢」を発信しませんか。

“April Dream”は、4月1日に企業や個人が叶えたい「夢」を発信いただくプロジェクトです。

▽ 特設サイト：<https://prtimes.jp/aprildream/>

【企業の参加方法（※4月1日当日）】

◆「April Dream」プレスリリース配信

夢を発信するプレスリリースを「PR TIMES」にて配信ください。その際、本文冒頭で「当社は、「April Dream 4月1日は、夢の日。」に参加しています。このプレスリリースは、私たちのApril Dreamです。」と書き出しいただくことで、プロジェクト参加いただいたものとみなします。
(「April Dream」対象プレスリリースは配信費を無料とします。)

【個人の方の参加方法（4月1日限定）】

◆SNS投稿できる「夢ジェネレーター」公開

夢に想いを馳せたとき、あなたの見上げる空・心に浮かぶ空・あなたを応援してくれる空はどんな空ですか？April Dreamの特設サイトでは、あなたの好きな空に、自分の夢をのせることのできる「夢ジェネレーター」を本日限定で公開しております。ジェネレーターで作成した、あなただけの夢の画像は、ご自身のTwitterやFacebookにご投稿いただけます。また、ご参加いただいた皆さんの夢の画像は、特設サイトに集めて掲載いたします。

<https://prtimes.jp/aprildream/>

◆特設サイト・キービジュアルについて

「April Dream」事務局では、全国のフォトグラファーさんにご協力いただき、47都道府県・東京23区の全てから「空」の写真を集めました。そして、特設サイトトップのキービジュアルとして、位置情報に対応したその場所の空を掲げています。サイトを見た後、今いる場所の空を見上げてみてはいかがでしょうか。また、サイト上にはご参加いただく皆様からお寄せいただいた「April Dream」を、それぞれの空とともに掲載しています。企業の夢、団体の夢、ひとりひとりの夢… 4月1日に集まった、皆様の夢をぜひご覧ください。



全国の空写真にご協力いただいた皆様：

株式会社クレスティア様と「FOTORIA」フォトグラファーの皆様、
奥本昭久様、宮下雅史様、フォトヒカリエ様、AURACROSS様、+U PHOTOGRAPHY様、大庭賜子様、Ko.様

April Dream プロジェクトメンバーのコメント

コピーライティング：武藤雄一氏（武藤事務所株式会社）



「当たり前」だと思って、疑わなかった常識に、石を投げてみる。その波紋に誰かが気づき、誰かが動き出し、やがて大きな波をとって未来が変わっていく。そんな予感に満ちあふれています。Made by April Dream の商品や事業が実際に生まれ、たくさんの人の役に立っていきますように。売るためでもなく、イメージを上げるためでもなく、叶えるためのコピーを書く。そんな経験はおそらくはじめてです。このプロジェクトに参加させていただいた奇跡に、深く感謝します。

アドバイザー：美濃部哲也氏（ソウルドアウト株式会社）



VUCA（「Volatility（激動）」「Uncertainty（不確実性）」「Complexity（複雑性）」「Ambiguity（不透明性）」）の時代、大胆に夢を言ってしまうと前に進む勇気が生まれ、道が開けるように思います。今はウソであっても信じて行動すれば、実現させられるかもしれません。それが無理だったとしても信じて頑張ることで、理想に少し近づけるはず。4月1日が「大胆な夢を誰もが口にしている日」として、一人でも多くの方がApril Dreamに参加することになれば、未来が明るくなっていくと思います。伴走者のひとりとしてプロジェクトに関わることができたことを心から嬉しく思います。

プロジェクト発起人：山口拓己（株式会社 PR TIMES 代表取締役社長）



もともと仕事の中で育まれた目標や志を、言葉にして口に出すのが苦手です。夢を語ればバカにされ、一歩踏み出せば否定され、懸命にいそめば無駄だと批評される。少しでも失敗したらすぐに非難され、それでも想いを貫き続けて事を成したら、それはそれで疎まれてしまう。それが現実だから、不言実行こそ自分の流儀だと考えていました。

それでも2017年に、当社のMission「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」を発表して以来、自分自身が頑張る意味を言葉にして、誰かに伝える大切さを感じています。私の夢は、このMissionの実現だと言い切れるようになりました。すると、目的をともにできる人が集まり、一歩踏み出せないときには背中を押してくれ、しんどいときには励ましてくれます。これまで人にも環境にもめぐまれたおかげで、今のPR TIMESがあります。現実には夢を口にすることで、良いことしかありませんでした。

4月1日が夢の日になることを妄想して、無私夢中になれるのが、とても幸せです。

プロジェクト担当：杉本秋／根本智帆（株式会社 PR TIMES）



普段、自分の夢について考えることも夢を語ることも少ない人もいらっしゃるかもしれません。私たちがプレスリリースをはじめPRに関わる中で、クライアント企業やメディアの方々の言葉や行動の奥に、感動するような信念が垣間見えることがあります。そんな信念に基づく夢がきっと、皆さま一社一社・一人一人にあるはず。その夢が叶う世界は、考えただけでもワクワクとし、勇気づけられます。

「April Dream」を昼夜問わず準備する中、賛同いただいた企業の皆様・メンバー・お取引先の皆様など、多くの方の夢や想い・熱量を受取り、人の心を動かすような大きな行動は、一人一人の夢から始まる、と改めて確信しています。夢は、一部の人のものだけでなく、誰もが持ち、語れるものです。きっと今日が、皆さんと私たちの大きな一歩になり、きっと大きなムーブメントになると信じています。

【プロジェクト発足経緯】エイプリルフールの課題と葛藤、そして新たな発信文化へ。

PR TIMESでは2015年から毎年、4月1日にエイプリルフール“ネタ”のプレスリリース配信を無料とするプロジェクトを開催し、エイプリルフールを企業広報の発信機会として大切にしてきました。普段は正確な情報発表に努める企業や団体も、人をハッピーにできる「嘘」や、将来こんなサービスが出せたらいいなという「嘘」を堂々とつける日に、生活者との新たな関係づくりに挑戦できると考えたからです。

しかし、企業エイプリルフールが年々盛り上がりを見せる一方で、PR TIMESでは企業発表プラットフォームとしての課題と葛藤が膨らんでいきました。フェイクニュースやデマが混乱を招き社会問題化する時代に、価値ある「嘘」とはどんなものか？行動を重視して真実を伝えることをミッションに掲げる当社が、本気で追求すべき発信機会とは何なのか？

2020年、私たちは4月1日の新たな発信文化を提唱します。ここから大きなうねりを起こし、世界を変えていく覚悟で。4月1日はジョークで笑いを誘うエイプリルフールではなく、大風呂敷を広げて「夢」を語る「April Dream」を発信できる日にしていきます。

企業も個人も、この日だけは夢を語ってみませんか。笑われてもいい、ムリだと思われてもいい、4月1日はそんな夢を、思い切って言葉にする日にしませんか。怒涛の快進撃も、奇跡の活躍も、最初は夢物語から始まるものです。無名の少年少女が金メダルを目指す、研究者が疫病撲滅に挑む、小国のビジネスパーソンが世界のスタンダードをつくる。はじめは本人さえ叶うか分からない夢を語ったことから、道は拓けていきます。

通常、プレスリリースでは結果を発表することがほとんどです。事実（ファクト）や根拠（エビデンス）が求められる情報の世界では、何かを成したことが強い意味を持ちます。それでも4月1日だけは、事実や根拠が無くとも成し遂げたいと強く願う「夢」をプレスリリース配信いただきたい。そこには必ず信念があるはず。笑いを誘うチャミングさは無かったとしても、本気で語られる信念に人は希望を見出し、描かれた未来の応援者となります。

今、新型コロナウイルスという目に見えぬ脅威が世界を席卷し、底知れぬ不安を抱えた人がたくさんいらっしゃいます。そんな状況で夢物語を促すなんて不謹慎で無責任だというご批判もあるかもしれませんが、それでも、私たちがプロジェクト実施を決断したのは、「夢」が希望をもたらすと考えたからです。先の見えない不安よりも強い希望を持たなければ、人は前を向くと信じています。社会が希望を取り戻すために、企業・団体の皆様の力を借りながら私たちが出来ることに取り組みたいと考え、プロジェクトを始動させました。

※例年同様、エイプリルフール対象プレスリリース（*）も配信無料とさせていただきます。当社としては「April Dream」プロジェクトへのご参加を推奨しております。 *…「今日は、エイプリルフールです。」と明記され4月1日に配信いただくプレスリリース。

あとがき

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、人の外出と集会はかつてなく制限され、いま誰もが苦闘の只中にいます。この情勢の下で、プレスリリースという企業の一次情報を扱う当社に何が出来るかを日々思案しています。

2月上旬から、新型コロナウイルスに関連したプレスリリースが徐々に増え始め、いま関連のプレスリリースが配信されない日はほぼありません。多くのメディアが連日のように新型コロナウイルスの話題を報じ、呼応するように SNS では情報が飛び交っています。

PR TIMES から人を惑わす不確かな情報が配信されないよう対処する中で、私たちの中に疑問が浮かびました。

外出自粛や休業要請が進行していく中で、この事態の収束に直接何かできなくても、それぞれの持ち場で尽力し続けている人は、その想いをかたちにできているのだろうか。想像以上の苦難を乗り越えている人たちは今、その行動を大切なステークホルダーへと届けられているのだろうか。

人の行動や頑張りの結晶を、その想いを紡いで発表するのが、プレスリリースです。

平時ではない今だからこそ、顔を上げて懸命に行動し続ける身近にいるヒーローの情報を、届けられる存在でありたい。

揺るぎない真実は、何を言ったかではなく、何をしたか。その行動は嘘をつきません。

けれども、行動は発信しなければ届くべき人に届かない。これもまた、真実です。

今、それぞれが悩みながらこの難局を乗り越えるべく行動する姿を、見守り、応援する人がいます。その情報を、待っている人がいます。華やかさなどは要りません。わたしたちは今一度事業を通じてひとつひとつの情報を届けていきたい考えです。

行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

【「PR TIMES」について】

URL : <https://prtimes.jp/>

「PR TIMES」は、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービスです。2007年4月のサービス開始より、報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信する機能と、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載する機能をセットで提供してまいりました。利用企業数は2020年2月に3万6000社に到達、国内上場企業38%に利用いただいています。情報収集のためメディア記者1万7000人に会員登録いただいています。サイトアクセス数も伸長しており、2019年12月に月間2700万PVを突破しました。配信プレスリリース本数も増加しており、2019年10月には過去最高の月間1万5000本を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア196媒体にコンテンツを提供しています。大企業からスタートアップ、地方自治体まで導入・継続しやすいプランと、報道発表と同時に生活者にも閲覧・シェアしてもらえるコンテンツ表現力を支持いただき、成長を続けています。（運営：PR TIMES）



【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション： 行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名： 株式会社 PR TIMES （東証一部 証券コード：3922）

所在地： 東京都港区南青山2-27-25 ヒューリック南青山ビル3F

設立： 2005年12月

代表取締役： 山口 拓己

- 事業内容：
- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」 (<https://prtimes.jp/>) の運営
 - 広報・PRの効果測定サービス「Web クリッピング」 (<https://webclipping.jp/>) の運営
 - オンライン上で話題化を図るデジタルPRの戦略立案・実施
 - 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」 (<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
 - カスタマーリレーションサービス「Tayori」 (<https://tayori.com/>) の運営
 - タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」 (<https://www.jooto.com/>) の運営
 - スタートアップメディア「BRIDGE」 (<https://thebridge.jp/>) の運営、等

URL： <https://prtimes.co.jp/>

